「治らない」から「治る」へ
認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク

1型糖尿病研究基金

第9回研究費助成課題募集のお知らせ

2025年「治らない」から「治る」へ

iPS細胞による1型糖尿病の根治に向けて

趣　　旨

1型糖尿病は生活習慣とは無縁で、突然膵臓内の膵β細胞が破壊され、インスリンを作る能力が失われる病気です。現在の治療法は絶対的に不足しているインスリンの「補充」を一生継続することです。患者は毎回の食事に応じたインスリンを、注射（1 日 4 回程度）や小さな機械（インスリンポンプ）によって補充を行います。食事療法や運動療法が中心の 2 型糖尿病とは治療の考え方が全く異なります。日本における 1 型糖尿病患者数の正確な数値はつかめていませんが、糖尿病全体の数％以下で 14 歳以下患者の年間の発症率は人口 10 万人当たり 1～2 人と希少性の高い疾患です。このような希少性により 1 型糖尿病の社会的認知度は低く、また患者はつらい「低血糖」と合併症につながる「高血糖」との狭間で一生過ごしていかなくてはなりません。治療の継続は患者本人の苦痛はもとより、家族にとっての精神的、経済的負担も多大なものとなっています。

このような状況において、私たち日本 IDDM ネットワークは 1 型糖尿病の「根治」を願い、2005 年に「1型糖尿病研究基金」を設立いたしました。この基金により1型糖尿病根治に向けた先進的な研究に取り組んでいる研究者の方々や団体に対し研究費の助成を行い、一日でも早く治療法が確立されることを期待してまいりました。

基金設立後、2008年度に初めて2件の研究費助成を実施することができ、これまで合計17件(2100万円)の研究費助成を行っております。

第9回となる今回の助成は2014年に佐賀県庁のご協力により実施した「日本IDDMネットワーク指定のふるさと納税－iPS細胞研究－」による寄付金を財源といたしております。前回**「iPS細胞による再生医療」をテーマに**総額1000万円の公募をいたしましたが、審査の結果100万円の助成にとどまりましたので、今回改めて**助成総額900万円で再公募**いたします。

iPS細胞で1型糖尿病の根治に向けて研究されている皆さまからの応募をお待ちしています。

2015年10月
認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

1型糖尿病研究基金　第9回研究費助成課題募集要項

1. 助成対象研究課題

1型糖尿病の根治“インスリン補充から解放され、病気になる前のもとの体に戻る”に向けた「iPS細胞による再生医療」を対象課題としております。

2. 助成対象者(研究代表者)

助成対象者は、以下の要件を満たす方とします。

① 1型糖尿病の研究に取り組んでいる研究者又は団体であること。
② 日本国内に研究拠点があること。
③ 原則として、3年以上の研究実績があること。

3. 助成金額、助成期間及びその使途

- 助成総額は900万円を予定しています。下記の3タイプの中から選択してください。
  タイプA: 助成金額は上限900万円で、助成期間は1年間。
  タイプB: 助成金額は上限100万円/年で、助成期間は最長3年間(各年の更新手続が必要)。
- 助成金の使途は特に限定しませんが、当該研究を実施する研究機関における事務部門等の間接経費には使用できません。
- 研究者又は団体の自己負担率は定めません。

4. 応募について

(1)応募期間

2015年10月30日(金)～2016年1月6日(水) 当日消印有効

(2)応募用紙の入手方法

日本IDDMネットワークのウェブサイトからダウンロードしてください。
http://japan-iddm.net/

(3)応募用紙の送付

所定の申請書に必要事項を記入のうえ、2016年1月6日(水)(当日消印有効)までに、下記の日本IDDMネットワーク事務局宛に、郵便または宅配便にて、お送りください。

※ 事務局へのご持参、ファックス、Eメール、メール便(投函記録のないもの)でのご応募は受け付けませんのでご了承ください。

5. 助成事業期間

原則として2016年2月から3に記載のタイプに応じて1年から最長3年の間に実施される研究を対象とします。

6. 助成事業の研究成果の公開等

助成期間の終了後、研究成果を当法人のウェブサイトや会報等で公表いたします。

サイエンスカフェ等、研究内容を患者・家族に直接伝えてもらう場や佐賀県内での講演等を設定する際にはご出席いただきます。また、当法人の理事等(患者・家族)による研究室訪問への対応もお願いいたします。研究室訪問のイメージは当法人のウェブサイト(http://japan-iddm.net/fund/)をご覧ください。佐賀県監査委員による監査が入る場合があります。

7. 選考について

(1)選考方法

提出された書類にもとづき、有識者や学識経験者の助言を得て、当法人の理事で選考します。
必要に応じて当法人からのヒアリングなども行います。
選考の結果、期間や金額の変更を求める場合もあります。

(2)選考基準

以下の基準にもとづいて選考を行います。

- 1型糖尿病の具体的な根治に向けた道筋が明確にされているかどうか。
- 研究内容やその手法が、研究の目標達成にむけて相応しいかどうか。
- 実施体制や実施スケジュールが十分に計画され、研究の実現性が期待できるかどうか。
- 関係機関の協力や当事者、専門家の参加により、高い成果が期待できるかどうか。
- 現在、抱えている研究課題が明確かどうか。
- これまでの研究内容が優れているかどうか。
- 患者やその家族の期待にそった持続的な研究が今後も期待できるかどうか。

(3)選考結果の通知

2016年2月1日(月)までに文書などで通知します。

(4)選考等のスケジュール

2015年10月 ～2016年1月 応募期間	⇒	2016年1月 選考	⇒	2016年2月 選考結果通知 (2月1日まで) 選考結果公表 (2月上旬)	⇒	2016年2月～ 助成事業開始 助成金振り込み

8. 助成課題への採択後のお取扱い

研究成果の発表は積極的に行い、その際は佐賀県庁へのふるさと納税を財源とした当法人の 1 型糖尿病研究基金による支援を受けた旨を表示していただきます。

9. 応募書類の送付先・問い合わせ先

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

〒840-0823　佐賀県佐賀市柳町 4-13
TEL　0952-20-2062　　FAX　020-4664-1804
E-mail　　info@japan-iddm.net

※ 個人情報の取り扱いについて

ご提出いただいた書類およびご記入いただいた個人情報は、本基金助成の選考、運営ならびに情報提供の目的で当法人および選考に携わる有識者や学識経験者が利用し、適切に管理いたします。

＊＊＊＊　日本IDDMネットワークとは　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

日本IDDMネットワークは1型糖尿病の患者・家族の支援団体です。1995年の阪神・淡路大震災での患者・家族の連携・協力の経験などが契機となり、全国の地域患者・家族会の連携とこの疾患を取り巻く社会的課題の解決のために設立されました。

会員として地域患者・家族会および個人を含めて、約2700人が所属しています。主な活動として、患者・家族への正しい情報提供(1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルの作成、“希望のバッグ”の送付、シンポジウムやセミナーの開催など)、患者・家族の療養環境や医療・福祉的な支援制度の改善のための政策提言、大規模災害時の患者・家族の支援、療育相談、社会啓発などに取り組んでいます。

そして最終ゴールである1型糖尿病の根絶を目指し、その研究支援に取組んでいます。